

写

事 務 連 絡

平成28年7月14日

福岡県農林水産部経営技術支援課長 殿
佐賀県生産振興部農産課長 殿
長崎県農林部農産園芸課長 殿
熊本県農林水産部農業技術課長 殿
大分県農林水産部地域農業振興課長 殿
宮崎県農林水産部農業経営支援課長 殿
鹿児島県農政部経営技術課長 殿

九州農政局生産技術環境課長

大雨に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について

九州においては6月19日から続く長期間の大雨によるほ場の冠水・浸水及び土砂崩れ等により農作物及び農地の被害が懸念されるところです。

冠水又は浸水の被害を受けたほ場や排水不良のほ場等の対策につきましては、既に「大雨に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について（平成28年6月21日付け九州農政局生産技術環境課長事務連絡）」を通知しておりますが、改めまして、当該通知の趣旨を御周知いただきますとともに、貴県関係機関や関係団体との連携を密にさせていただき、地域の状況に応じた迅速かつ適切な対応をお願いします。

九州農政局生産部生産技術環境課

農政調整官齊藤

技術係吉田

(直通) 096-211-9111

(内線4531、4528)

(参考)

事 務 連 絡

平成28年6月21日

福岡県農林水産部経営技術支援課長 殿

佐賀県生産振興部農産課長 殿

長崎県農林部農産園芸課長 殿

熊本県農林水産部農産技術課長 殿

大分県農林水産部地域農業振興課長 殿

宮崎県農林水産部農業経営支援課長 殿

鹿児島県農政部経営技術課長 殿

九州農政局生産技術環境課長

大雨に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について

梅雨前線の活動が活発となり、熊本県甲佐で21日00時19分までの1時間に150.0ミリの記録的な雨を観測するなど、九州では記録的な大雨となったところです。梅雨本番となり今後も梅雨前線の停滞・活発化により土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水・はん濫等による農作物への被害が懸念されるところです。

このため、「農業技術の基本指針(平成28年改定)」「(平成28年3月公表)を踏まえ、下記事項を取りまとめましたので、貴県関係機関や関係団体との連携を密にいただき、地域の状況に応じた迅速かつ適切な対応をお願いします。

なお、「平成28年(2016年)熊本地震」の影響により、揺れの大きかった地域では地盤が緩んでいるところがあるため、これらの地域では特に土砂災害の発生に十分警戒してください。

また、最新の防災気象情報に十分留意しつつ弾力的な対応をお願いします。

九州農政局生産部生産技術環境課

農政調整官 齊藤

技術係 吉田

(直通) 096-211-9111

(内線 4531、4528)

記

【共通事項】

- 1 人命第一の観点から、ほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、大雨や強風が治まるまでは行わないでください。

また、大雨等が治まった後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかず、足下等、ほ場周辺の安全に十分に注意し、転落、滑落事故に遭わないよう慎重に行ってください。

特に、度重なる地震により傾斜地等では亀裂への浸透水による土砂崩れ、地滑りの発生なども予想されるため、土砂災害の前兆現象（異様な音の発生、湧水の濁り等）に注意して下さい。

- 2 都道府県、普及指導センター、農業協同組合など関係機関の連携体制を整備し、気象庁の情報を基に地域に雨、風等どのような影響があるか把握しつつ、地域の品目や生育ステージに応じた対応を速やかに現場に徹底してください。
- 3 局地的な大雨が予想される地域においては、ほ場の冠水のおそれがあることから、速やかな排水に備えてください。

なお、九州農政局土地改良技術事務所において、ほ場が冠水又はそのおそれがある場合、排水対策に活用できる災害応急用ポンプの貸出を無償で行っていますので、活用ください。

<関連情報>

九州農政局ホームページ「災害応急用ポンプの貸出」

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/kokuei/03/ponpu/oukyu.html>

- 4 病虫害への対策として、適時適切な防除を心がけてください。特に、県病虫害防除所から発表される発生予察情報に基づき適期防除に努めてください。

なお、農薬を使用する際には、ラベルに記載された使用基準を遵守し、周辺への飛散低減対策を講ずるとともに、適時適切な散布に心がけてください。

【水稲】

大雨が予想される場合は、あらかじめ、排水路、ほ場内排水溝等の点検及び補修整備を行ってください。また、浸水、冠水被害を受けたほ場では、速やかな排水に努め、排水後は、白葉枯病等の防除に留意してください。

【大豆】

- 1 大雨による冠水又は浸水後の排水対策が速やかに行われるよう、ほ場周辺や排水路の点検整備を行い、冠水又は浸水の被害を受けたほ場においては、速やかな排水に努めてください。また、生育遅延や根腐れを引き起こし、病虫害に対する抵抗性が弱まるため、病虫害の発生動向に注意し、適切な防除を行ってください。
- 2 浸水や冠水等により再は種を行う場合は、は種晩限に注意しつつ、は種時期に応じ、は種量を増やす等により苗立ち数等の確保に努めてください。
- 3 土壌の多湿状態が長期間継続すると、土壌中の酸素不足による根粒菌の活性の低下

や茎疫病の増加が懸念されるため、排水対策を実施するとともに、天候の回復後、排水後のほ場の状況等を勘案し、中耕や培土を実施してください。

【ばれいしょ】

ほ場が滞水した場合には、塊茎腐敗を起こしやすいので、排水溝の設置等による速やかな排水に努めてください。

【さとうきび】

泥灰岩土壌などにおいては、ほ場の滞水が収量及び品質に大きく影響するので、あらかじめ排水溝を設置する等、速やかな排水に努めてください。

【かんしょ】

ほ場が滞水した場合には、塊茎腐敗を起こしやすいので、排水溝を設置する等、速やかな排水に努めてください。

【野菜】

- 1 ほ場内からの早期排水のため、あらかじめ溝切り、畦立て等の管理作業を実施してください。また、傾斜地畑においては、排水路の設置等により畑地崩壊及び土壌侵食を防止してください。
- 2 冠水・浸水時には速やかな排水に努め、土寄せ、追肥、液肥の葉面散布等を行い生育の回復に努めるとともに、折損した茎葉の除去や適切な薬剤散布を行い、病害の発生を防止してください。
- 3 生育初期に被害を受けた場合には、予備苗による植替えや再は種を行い被害の軽減に努めるほか、被害が著しい場合は他の品種又は作物への転換も検討してください。

【果樹】

- 1 傾斜地の園地においては、排水路の設置、草生、敷わら又は敷草により園地の崩壊、土壌の流亡等を防止してください。また、マルチ栽培に当たっては、降雨遮断により雨水の園外排水量が増加し、土砂崩れや石垣の崩壊等につながる可能性があるため、排水路、排水溝を整備してください。
- 2 被害により樹勢が弱まっている場合は、薬害が発生しないよう留意しつつ病害虫の防除を実施するとともに、樹勢に見合った適切なせん定、施肥及び摘果を実施してください。

【花き】

冠水又は浸水したほ場については、排水ポンプによるくみ上げ等により速やかな排水に努めてください。また、倒伏した株は早急に立て起こし、茎や花穂の曲がりや折れを防止するとともに、折れた茎葉は除去し、適切な薬剤散布等により、病害の発生防止に努めてください。

【畜産】

1 家畜

- (1) 排水路を設ける等により斜面の崩壊及び土壌浸食を防止してください。
また、冠水や浸水のおそれがある場合は、被害を最小限にできるよう、家畜及び飼料の早期移動等に努めてください。
- (2) 冠水等が生じたときに速やかに対応できるよう、地域において、行政機関や生産者団体等との連携によりあらかじめ停電や断水時の対応を確認してください。また、停電時には、自家発電機を利用した搾乳、生乳冷却等に努めてください。
- (3) 冠水・浸水した畜舎については、速やかな排水に努め、水洗・消毒を実施し、疾病や病虫害の発生の防止に努めてください。また、飼料が冠水等の被害を受けた場合には、当該飼料の家畜への給与は中止してください。

2 飼料作物

天候に応じて迅速に管理・収穫作業等が行えるよう、共同作業の体制を十分整えておくとともに、調製法についても、気象の変動に応じて、例えば乾草からサイレージに切り替える等、臨機応変な対応が取れる体制としてください。また、作物が被害を受け、減収が懸念される場合などには、次期作を前倒しした作付や、稲わら等の農産副産物の確保等により、良質な粗飼料の確保等に努めてください。